

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公開番号】特開 2005-340888 (P2005-340888A)

【公開日】平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報 2005-048

【出願番号】特願 2004-152807 (P2004-152807)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

H 0 4 N 5/44 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/92 H

H 0 4 N 5/44 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 30 日 (2007.3.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 3 のセグメントに分割された伝送帯域幅を有し、その内の 1 セグメントを占有する 1 セグメント放送と、他の 1 2 セグメントを占有する 1 2 セグメント放送とを受信する受信手段と、

前記受信手段により受信される 1 2 セグメント放送および 1 セグメント放送から 1 2 セグメント放送の映像データ、1 セグメント放送の映像データおよび 1 セグメント放送の音声データを記録する記録手段と

を具備することを特徴とする放送記録装置。

【請求項 2】

前記記録手段は、1 2 セグメント放送の音声データと 1 セグメント放送の音声データとが同一のデータ形式である場合には、1 2 セグメント放送の映像データ、1 セグメント放送の映像データおよび 1 セグメント放送の音声データを記録することを特徴とする請求項 1 記載の放送記録装置。

【請求項 3】

前記記録手段にて記録された 1 2 セグメント放送を再生する場合には、1 2 セグメント放送の映像データと 1 セグメント放送の音声データとを再生する再生手段を具備することを特徴とする請求項 1 記載の放送記録装置。

【請求項 4】

1 3 のセグメントに分割された伝送帯域幅を有し、その内の 1 セグメントを占有する 1 セグメント放送と、他の 1 2 セグメントを占有する 1 2 セグメント放送とを受信する受信処理と、

前記受信処理にて受信される 1 2 セグメント放送および 1 セグメント放送から 1 2 セグメント放送の映像データ、1 セグメント放送の映像データおよび 1 セグメント放送の音声データを記録する記録処理と

をコンピュータで実行させることを特徴とする放送記録処理プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】放送記録装置および放送記録処理プログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、地上デジタル放送を記録する放送記録装置および放送記録処理プログラムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで本発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、12セグメント放送と1セグメント放送とを記録する際の記録データ量を削減することができる放送記録装置および放送記録処理プログラムを提供することを目的としている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するため、請求項1に記載の発明では、13のセグメントに分割された伝送帯域幅を有し、その内の1セグメントを占有する1セグメント放送と、他の12セグメントを占有する12セグメント放送とを受信する受信手段と、前記受信手段により受信される12セグメント放送および1セグメント放送から12セグメント放送の映像データ、1セグメント放送の映像データおよび1セグメント放送の音声データを記録する記録手段とを具備することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記請求項1に従属する請求項2に記載の発明では、前記記録手段は、12セグメント放送の音声データと1セグメント放送の音声データとが同一のデータ形式である場合には、12セグメント放送の映像データ、1セグメント放送の映像データおよび1セグメント放送の音声データを記録することを特徴とする

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記請求項1に従属する請求項3に記載の発明では、前記記録手段にて記録された12セ

グメント放送を再生する場合には、１２セグメント放送の映像データと１セグメント放送の音声データとを再生する再生手段を具備することを特徴とする。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

請求項４に記載の発明では、１３のセグメントに分割された伝送帯域幅を有し、その内の１セグメントを占有する１セグメント放送と、他の１２セグメントを占有する１２セグメント放送とを受信する受信処理と、前記受信処理にて受信される１２セグメント放送および１セグメント放送から１２セグメント放送の映像データ、１セグメント放送の映像データおよび１セグメント放送の音声データを記録する記録処理とをコンピュータで実行させることを特徴とする。

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

本発明によれば、１２セグメント放送と１セグメント放送とを記録する際の記録データ量を削減することができる。

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】